



2025年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名
 コード番号 3808 URL https://www.okwave.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉浦 元
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理担当執行役員 (氏名) 岡本 敦哉 (TEL) 03(6823)4306
 定時株主総会開催予定日 2025年9月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年9月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期の連結業績(2024年7月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	234	53.6	△114	—	△160	—	△135	—
2024年6月期	152	4.2	△285	—	△369	—	△280	—

(注) 包括利益 2025年6月期 △117百万円(—%) 2024年6月期 △281百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	△3.28	—	△55.6	△10.2	△48.9
2024年6月期	△7.31	—	△893.8	△23.3	△186.9

(参考) 持分法投資損益 2025年6月期 一百万円 2024年6月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	1,725	372	18.9	7.08
2024年6月期	1,430	185	11.3	3.96

(参考) 自己資本 2025年6月期 325百万円 2024年6月期 161百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	64	△82	287	542
2024年6月期	△367	△1	486	273

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	300~500	27.8~ 113.0	△100~1	—

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名) 株式会社オープンサイト、除外 1社(社名) OKWAVE USA, Corporation

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2025年6月期	46,034,804株	2024年6月期	40,729,104株
2025年6月期	86株	2024年6月期	86株
2025年6月期	41,301,825株	2024年6月期	38,358,061株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年6月期の個別業績(2024年7月1日~2025年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	177	23.9	△123	—	△159	—	△127	—
2024年6月期	143	14.6	△277	—	△364	—	△306	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期	△3.09	—
2024年6月期	△8.00	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	1,703	360	18.4	6.82
2024年6月期	1,419	184	11.3	3.93

(参考) 自己資本 2025年6月期 313百万円 2024年6月期 160百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は2024年9月30日「上場維持基準（業績）に係る改善期間入りに関するお知らせ」開示の通り、上場維持基準（業績）に係る改善期間に入っており、2025年6月期に営業利益又は営業活動によるキャッシュ・フローの額が正とされないときには、名古屋証券取引所ネクスト市場の上場維持基準である業績項目に該当し、上場廃止になる可能性があります。そのため、当社は、当連結会計年度において、上場維持及び今後の成長に向けて、営業利益と営業キャッシュ・フローの創出を最重要課題とし、以下の施策の実施に重点をおいてまいりました。

- ① オフィス移転、最少人数での効率的な事業運営、専門家報酬の減額等によるコスト削減
- ② 広告収益の改善
- ③ 中長期を見据えた注力領域・事業ポートフォリオの創出
- ④ ③に適合した M&Aの実行

広告事業においては、昨年からの検索エンジンのアルゴリズムアップデートの影響を受けPV数の減少が続いており、PV数に依存したアドネットワーク広告中心の広告売上を改善すべく、当連結会計年度においては、純広告契約や高単価の広告商材の獲得へのシフトを行いました。純広告等の契約を獲得するための提案（営業）活動から記事制作、広告掲載、効果検証などの体制を短期間で整備することができ、また、2025年4月14日にはGFA株式会社のWebプロモーション業務を受託することができ、当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度を大きく上回る着地となりました。

また、クラウドサンクスカード「GRATICA」及びQ&Aコミュニティ「OKWAVE」と連携した「OKWAVE Plus」の売上高は、解約による導入企業数の減少はあったものの、単価改善や、単発でのご利用があったこともあり、前連結会計年度とほぼ同水準での着地となりました。

連結子会社であるOKWAVE USAの事業停止（2025年6月に清算終了）による売上高減少の影響があったものの、2024年7月末に株式取得した中高年のオンラインマッチングサービスを提供している連結子会社である株式会社オープンサイト（以下、オープンサイト社という）において売上高57,230千円を計上することができました。

以上により、当連結会計年度の売上高は234,701千円（前年同期比81,921千円増）となりました。

営業損益におきましては、連結子会社オープンサイト社の新規連結によるのれん償却額が11,123千円発生したものの、当社従業員の退職（前期末までに発生した退職）により人件費が減少したこと、オフィス移転により地代家賃が減少したこと、支払報酬が減少したこと等により、総コスト（売上原価と販管費の合計）は前年同期比88,865千円減少しました。営業損益は前期から毎四半期改善しているものの、依然として固定費を回収できるまでの売上増加に至っておらず、その結果、売上総利益は103,621千円（前年同期比102,013千円増）、営業損失114,741千円（前年同期は285,528千円の営業損失）となりました。

経常損益におきましては、当連結会計年度では、株主代表訴訟対応等の臨時的弁護士費用、ファイナンスに係る専門家費用等の発生があり、経常損失160,260千円（前年同期は369,585千円の経常損失）となりました。また、Raging Bull合同会社に対する投資資金の回収不能の件について当社元監査役との和解金29,500千円を受取りがあったことと、連結子会社であるOKWAVE USAの清算による関係会社清算損10,218千円の発生等により、親会社株主に帰属する当期純損失135,312千円（前年同期は280,229千円の親会社株主に帰属する当期純損失）を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、1,725,331千円（前連結会計年度末比294,951千円増）となりました。これは主に、前払費用が26,226千円減少し、現金及び預金が269,257千円、オープンサイト社の新規連結によりのれんが73,820千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債総額は、1,352,813千円（前連結会計年度末比108,324千円増）となりました。これは主に、前受金が63,447千円、未払法人税等が9,080千円、長期前受金が28,000千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、372,517千円（前連結会計年度末比186,626千円増）となりました。これは主に、資本金及び資本剰余金がそれぞれ140,922千円、新株予約権が21,997千円増加し、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が135,312千円減少したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ269,257千円増加し、542,309千円となりました。また、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、64,464千円の収入（前年同期は367,634千円の支出）となりました。これは主に、営業損失の計上114,741千円、和解金収入29,500千円、未収消費税等の減少13,869千円、未収還付法人税等の減少8,624千円、前払費用の減少26,940千円、前受金の増加58,952千円、長期前受金の増加28,000千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、82,985千円の支出（前年同期は1,309千円の支出）となりました。これは連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出89,091千円、差入保証金の回収による収入6,105千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、287,800千円の収入（前年同期は486,511千円の収入）となりました。これは主に株式の発行による収入281,202千円、新株予約権の発行による収入6,605千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「世界中のありがたの物語を蓄積し可視化する」というパーパスのもと、AIの発達やデジタル化が進む世界において、「共感」や「信頼」に基づくコミュニケーションが重要になってくると考えており、人々が「人間らしさ」を取り戻し、より良い社会をつくる基盤となるようなサービスを展開していく方針です。

2026年6月期は、既存事業のうち注力領域についてサービスの深化を行うとともに、新規M&Aを数件行う方針です。それにより、連結業績予想につきましては、売上高300百万円～500百万円（2025年6月期比27.8%増～113.0%増）、営業利益△100百万円～1百万円（2025年6月期は114百万円の営業損失）を見込んでおります。なお、この連結業績予想には、現時点では未確定の今後実施予定のM&Aによるインパクトも織り込んでおり、複数のシナリオを想定したレンジ形式での業績予想としております。また、経常利益以下の段階利益に関する業績予想につきましては、臨時の弁護士費用等の発生可能性があります。現時点において、営業外費用・収益等の合理的な予想の算出が困難であることから、非開示としております。

詳細は、本決算短信と同時に公表しております中期経営計画説明資料をご覧ください。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2022年6月期において、Raging Bull合同会社への投資運用取引による損失を、またOK FUND L.P.を通じて買収した株式会社アップライツ等の連結子会社化に関連する損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は5,120,709千円となりました。

2023年6月期においても株式会社アップライツ等に係る投資有価証券評価損318,581千円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は1,066,368千円となりました。また、2023年6月期末における純資産は△98,562千円の債務超過となりました。

このような状況の中、2023年5月12日開催の臨時株主総会で株主割当による新株予約権の発行を決議し、当新株予約権の権利行使により総額757,371千円の新株発行を行いました。また、2023年9月13日を払込期日とする現物出資（借入金の株式化）により、191,664千円の新株発行を行いました。その結果、2024年6月期における純資産は185,891千円となり、債務超過は解消しましたが、営業損失の状況が続いており、親会社株主に帰属する当期純損失は280,229千円となりました。

当連結会計年度においては、広告売上の改善や継続したコスト削減、営業利益を創出している株式会社オープンサイトの株式取得に伴う連結子会社化により、営業損失は前連結会計年度と比べて減少しているものの、依然として営業損失114,741千円となっており、2020年6月期以降において営業損失が継続しております。これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

①既存事業の収益構造の改善

顧客データの分析により事業の成長性を見極め、事業運営体制を見直し、確実性が高い分野へリソースを再配分することで、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図っております。

また、売上原価・販売費及び一般管理費について、前連結会計年度より大幅なコスト削減を実施しております。

②M&Aの実施による収益構造の改善

今後、M&Aにより収益力のある企業・事業をグループ化することにより、当社グループの事業展開を加速させるとともに、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図ってまいります。

③財務基盤の安定化

当社グループは、運転資金の安定的な確保と維持に向け、子会社の解散・清算を進めるなどグループ内の資金を最大限に有効活用してまいります。なお、取引金融機関等に対しても、引き続き協力を頂くための協議を進めていくとともに、資本の増強策の可能性についても検討しております。

しかしながら、当連結会計年度において114,741千円の営業損失の状況であることから、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認識しております。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	273,052	542,309
売掛金	14,501	16,132
前払費用	37,325	11,099
未収消費税等	12,269	—
未収還付法人税等	8,624	—
その他	22,603	10,546
流動資産合計	368,377	580,087
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	1,281	1,281
減価償却累計額	△1,281	△1,281
工具、器具及び備品（純額）	0	0
有形固定資産合計	0	0
無形固定資産		
ソフトウェア	—	2,672
のれん	—	73,820
その他	0	0
無形固定資産合計	0	76,492
投資その他の資産		
投資有価証券	43,809	42,937
差入保証金	93	712
長期貸付金	60,000	60,987
破産更生債権等	4,933,032	4,933,032
長期未収入金	122,767	115,789
繰延税金資産	—	8,245
貸倒引当金	△4,097,698	△4,092,954
投資その他の資産合計	1,062,003	1,068,751
固定資産合計	1,062,003	1,145,243
資産合計	1,430,380	1,725,331

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	730	3,414
未払金及び未払費用	216,730	220,068
未払法人税等	950	10,030
前受金	3,678	67,125
仮受金	1,017,058	1,017,058
その他	5,342	7,116
流動負債合計	1,244,489	1,324,813
固定負債		
長期前受金	—	28,000
固定負債合計	—	28,000
負債合計	1,244,489	1,352,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	150,922
資本剰余金	1,854,070	1,994,993
利益剰余金	△1,673,591	△1,808,903
自己株式	△85	△85
株主資本合計	190,394	336,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	862	△9
為替換算調整勘定	△29,986	△11,018
その他の包括利益累計額合計	△29,123	△11,027
新株予約権	24,620	46,618
純資産合計	185,891	372,517
負債純資産合計	1,430,380	1,725,331

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高	152,780	234,701
売上原価	151,172	131,080
売上総利益	1,608	103,621
販売費及び一般管理費	287,136	218,363
営業損失(△)	△285,528	△114,741
営業外収益		
受取利息	3	100
為替差益	799	—
未払配当金除斥益	—	2,725
雑収入	5,873	3,024
営業外収益合計	6,676	5,849
営業外費用		
支払利息	6,027	—
支払手数料	3,846	2,922
支払報酬	80,285	46,977
為替差損	—	267
雑損失	573	1,201
営業外費用合計	90,733	51,368
経常損失(△)	△369,585	△160,260
特別利益		
関係会社株式売却益	27,510	—
和解金収入	17,500	29,500
受取保険金	48,662	—
特別利益合計	93,673	29,500
特別損失		
固定資産除却損	0	—
リース解約損	3,246	—
関係会社清算損失引当金繰入額	—	1,327
関係会社清算損	—	10,218
特別損失合計	3,246	11,545
税金等調整前当期純損失(△)	△279,157	△142,306
法人税、住民税及び事業税	1,071	1,252
法人税等調整額	—	△8,245
法人税等合計	1,071	△6,993
当期純損失(△)	△280,229	△135,312
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△280,229	△135,312

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
当期純損失(△)	△280,229	△135,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	862	△871
為替換算調整勘定	△2,570	18,967
その他の包括利益合計	△1,707	18,095
包括利益	△281,936	△117,216
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△281,936	△117,216
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	2,137,671	1,583,185	△3,791,918	△85	△71,146	-	△27,416	△27,416
当期変動額								
新株の発行	95,832	95,832			191,664			
新株の発行(新株予約権の行使)	175,053	175,053			350,106			
減資	△2,398,556	2,398,556			-			
欠損填補		△2,398,556	2,398,556		-			
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△280,229		△280,229			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						862	△2,570	△1,707
当期変動額合計	△2,127,671	270,885	2,118,327	-	261,540	862	△2,570	△1,707
当期末残高	10,000	1,854,070	△1,673,591	△85	190,394	862	△29,986	△29,123

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	-	△98,562
当期変動額		
新株の発行		191,664
新株の発行(新株予約権の行使)		350,106
減資		-
欠損填補		-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△280,229
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	24,620	22,912
当期変動額合計	24,620	284,453
当期末残高	24,620	185,891

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	その他の包括 利益累計額合 計
当期首残高	10,000	1,854,070	△1,673,591	△85	190,394	862	△29,986	△29,123
当期変動額								
新株の発行	99,997	99,997			199,995			
新株の発行(新株予 約権の行使)	40,925	40,925			81,850			
親会社株主に帰属す る当期純損失(△)			△135,312		△135,312			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						△871	18,967	18,095
当期変動額合計	140,922	140,922	△135,312	-	146,533	△871	18,967	18,095
当期末残高	150,922	1,944,993	△1,808,903	△85	336,927	△9	△11,018	△11,027

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	24,620	185,891
当期変動額		
新株の発行		199,995
新株の発行(新株予 約権の行使)		81,850
親会社株主に帰属す る当期純損失(△)		△135,312
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	21,997	40,093
当期変動額合計	21,997	186,626
当期末残高	46,618	372,517

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△279,157	△142,306
減価償却費	—	1,454
のれん償却額	—	11,123
株式報酬費用	24,251	16,036
受取利息	△3	△100
支払利息	6,027	—
為替差損益 (△は益)	△113	15
未払配当金除斥益	—	△2,725
固定資産除却損	0	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△27,510	—
関係会社清算損益 (△は益)	—	10,218
和解金収入	△17,500	△29,500
受取保険金	△48,662	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,514	4,639
前払費用の増減額 (△は増加)	△27,922	26,940
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,668	2,684
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△96,335	1,092
未払又は未収消費税等の増減額	33,848	13,869
前受金の増減額 (△は減少)	54	58,952
預り金の増減額 (△は減少)	△454	2,105
長期前受金の増減額 (△は減少)	—	28,000
その他	△12,501	33,630
小計	△435,796	36,131
利息の受取額	3	100
利息の支払額	△9,556	—
和解金の受取額	17,500	29,500
保険金の受取額	48,662	—
法人税等の支払額	△1,071	△1,267
法人税等の還付額	12,624	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△367,634	64,464

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△89,091
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△2,757	—
差入保証金の回収による収入	1,448	6,105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,309	△82,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△270,000	—
株式の発行による収入	757,371	281,202
新株予約権の発行による収入	368	6,605
配当金の支払額	△1,228	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	486,511	287,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	△178	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	117,389	269,257
現金及び現金同等物の期首残高	155,662	273,052
現金及び現金同等物の期末残高	273,052	542,309

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

当社グループは、2022年6月期において、Raging Bull合同会社への投資運用取引による損失を、またOK FUND L.P.を通じて買収した株式会社アップライツ等の連結子会社化に関連する損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は5,120,709千円となりました。

2023年6月期においても株式会社アップライツ等に係る投資有価証券評価損318,581千円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は1,066,368千円となりました。また、2023年6月期末における純資産は△98,562千円の債務超過となりました。

このような状況の中、2023年5月12日開催の臨時株主総会で株主割当による新株予約権の発行を決議し、当新株予約権の権利行使により総額757,371千円の新株発行を行いました。また、2023年9月13日を払込期日とする現物出資(借入金の株式化)により、191,664千円の新株発行を行いました。その結果、2024年6月期における純資産は185,891千円となり、債務超過は解消しましたが、営業損失の状況が続いており、親会社株主に帰属する当期純損失は280,229千円となりました。

当連結会計年度においては、広告売上の改善や継続したコスト削減、営業利益を創出している株式会社オープンサイトの株式取得に伴う連結子会社化により、営業損失は前連結会計年度と比べて減少しているものの、依然として営業損失114,741千円となっており、2020年6月期以降において営業損失が継続しております。これらの状況により、継続企業の前題に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

①既存事業の収益構造の改善

顧客データの分析により事業の成長性を見極め、事業運営体制を見直し、確実性が高い分野へリソースを再配分することで、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図っております。

また、売上原価・販売費及び一般管理費について、前連結会計年度より大幅なコスト削減を実施しております。

②M&Aの実施による収益構造の改善

今後、M&Aにより収益力のある企業・事業をグループ化することにより、当社グループの事業展開を加速させるとともに、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図ってまいります。

③財務基盤の安定化

当社グループは、運転資金の安定的な確保と維持に向け、子会社の解散・清算を進めるなどグループ内の資金を最大限に有効活用してまいります。なお、取引金融機関等に対しても、引き続き協力を頂くための協議を進めていくとともに、資本の増強策の可能性についても検討しております。

しかしながら、当連結会計年度において114,741千円の営業損失の状況であることから、現時点においては、継続企業の前題に関する重要な不確実性が存在するものと認識しております。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前題に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

I 前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり純資産額	3円 96銭	7円 08銭
1株当たり当期純損失(△)	△7円 31銭	△3円 28銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△280,229	△135,312
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△280,229	△135,312
期中平均株式数(株)	38,358,061	41,301,825

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	185,891	372,517
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	24,620	46,618
(うち新株予約権)	24,620	46,618
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	161,270	325,899
期末の普通株式の数(株)	40,729,018	46,034,718

(重要な後発事象)

新株予約権の行使による新株式の発行

当社は当連結会計年度末以降、新株予約権の行使により新株式を発行しており、2025年7月31日付で資本金及び資本準備金が増加しております。

①対象となる新株予約権	第24回新株予約権
②発行株式の種類及び株式数	普通株式 4,447,700株
③増加した資本金	118,798千円
④増加した資本準備金	118,798千円